

八戸市小学校長会会長賞

ぼくのミニトマト

中居林小学校 二年 滝本 桔平

ぼくは、生活科のべんきょうでミニトマトをそだてました。はじめに、ミニトマトのなえを入れました。はちに土を少し入れて、なえが入ったカップをさかさまにして、くきを人さしゆびと中ゆびでやさしくはさんで、カップの下にあるあなを右手でおして、なえを出しました。そして、なえを自分のはちに入れて土をかぶせました。ひりょうは、四つのかどにそれぞれ一つずつあげました。さいごに水をたっぷりあげました。

それから、ぼくは、まい日学校についたらミニトマトに水をたっぷりあげました。はやく大きくなあれ、大きなミニトマトいっぱいなあれと思つて、水をあげました。しばらくすると、黄色でほしがたの花がさきました。花のさいた後には、どんなみができるのかわくわくしました。花がしおれたその後に、みどりのトマトの赤ちやんができました。なん日かたつと、ビー玉ぐらいの大きさになって、やつとミニトマトだと分かるようになりました。さらになん日かたつと、みがオレンジ色になりました。そして、やつとみが赤くなりました。

しゅうかくをたのしみにしていた七月のはじめ、大雨がふりました。かみなりがなつて大

つぶの雨がザーザーふりました。歩いてかえることができなくなつて、みんなおうちの人のおむかえで帰ることになりました。ぼくは、ぼくのミニトマトがしんぱいでした。くきはおれていないかな、はつばにあながあいていないかな、ミニトマトがわれていないかなと思ひました。つぎの日学校にいくと、ぼくのミニトマトがおちて、ふまれていました。とてもかなしくなりました。ぼくがまい日水をあげて、とつてたべるのをたのしみにしてたのにと、がつかりしました。ふまれたミニトマトを見て、もうミニトマトはできないのかな、そだたないのかなと思ひました。

でも、ぼくのミニトマトは、黄色い花をさかせてくれました。そして、またミニトマトのみがなりました。ミニトマト、みのつてくれでありがとうと思ひました。やつと赤いみになりました。三つしゅうかくしました。いえにだいじにもつてかえりました。ぼくが一つたべてみました。とてもあまくて、とくべつなあじでした。妹も一つたべました。

「あまい。おいしい。」
「あまい。おいしい。」
「あといつは、おとうさんにたべてもらいました。おとうさんも、

「おいしい。」
と言つてくれました。ぼくは、うれしくなりました。雨がふつて、みがおちてもあきらめなくよかつたなと思ひました。

夏休みに、ミニトマトをいえにもちかえりました。はつばがもつともりもりして、みをいっぱいつけてくれました。またらい年もミニトマトに会いたいです。